追加募集

２０２６年度学部生(新入生･在学生)
新規で貸与･給付の奨学金を希望する方へ

２０２６年５月
厚生課
ﾛﾎﾞﾃｨｸｽ＆ﾃﾞｻﾞｲﾝ工学部事務室
情報科学部事務室

【追加募集】日本学生支援機構奨学金　貸与･給付(多子世帯含む)　の募集について

下記のとおり出願書類配付期間を設けますので、出願希望者は取りに来てください。

記

１．出願書類配付期間･配付場所

配付期間（貸与･給付）	配付時間	配付場所	
２０２６年 **６月１日(月)～ ６月１０日(水)まで** **※日曜日除く**	９：００～ １７：００ (１１：３０～ １２：３０除く)	大宮キャンパス	厚生課（１号館２階）
		梅田キャンパス	ロボティクス＆デザイン工学部事務室（７階）
		枚方キャンパス	情報科学部事務室（１号館１階）

※やむを得ない事情(病気、就職活動等)で期間中に取りに来られない場合は、必ず事前に担当窓口へ申し出てください。

２．注意事項

すでに日本学生支援機構の奨学生として採用されている方

今回の出願は新規申込です。現在、日本学生支援機構奨学金の貸与･給付を受け、2026年4月以降も継続して貸与･給付を希望する場合は、配付期間に出願書類を受け取る必要はありません。

追加で新たな奨学金を希望する場合は出願が必要です。

家計基準の判定対象となる時期について

今回の募集では2024年の収入情報に基づく2025年度の住民税情報により選考が行われます。

新入生の方

①2026年度入学の新入生は、出願時に出身高校の卒業までの成績が反映された**調査書**、または**成績証明書**の提出が必要です。発行までに時間がかかりますので、今回出願予定の方は、あらかじめ出身高校に発行依頼してください。ただし、貸与奨学金の第二種のみを希望する人は必要ありません。(詳細は出願書類の中で明記します。)

②高校予約採用者は、予約採用時にすでに採用になっている奨学金(貸与第一種および第二種奨学金、給付奨学金のいずれか)以外の奨学金を新たに希望する場合、出願書類を取りに来てください。

受給･貸与始期について

書類に不備がなく、最速で採用された場合の初回振込は**最短の場合は8月**です。

３．申込資格の確認

貸与奨学金

①２０２６年４月以降、留年または４年生で卒業研究未着手の学生は奨学金の出願をすることができません。
留年が解消された年度に改めて申込ください。
②修得した単位数が平均水準を大幅に下回る場合は、出願できないことがあります。

給付奨学金（多子世帯の申請を含む）

【新入生】：次の（ア）～（ウ）のいずれかに該当すること
（ア）高等学校における評定平均値が3.5以上であること
（イ）高等学校卒業程度認定試験の合格者であること
（ウ）「学修計画書」により学修の意欲や目的、将来設計等が確認できること

【２年生以上】：次の（ア）（イ）のいずれかに該当すること
（ア）T-GPAが在学する学部において上位1/2の範囲に属すること
※具体的数値は出願書類の中で明記します
（イ）２０２６年３月末までに修得した単位数が標準単位数以上であり、「学修計画書」により学修の意欲や目的、将来設計等が確認できること

貸与･給付奨学金
日本学生支援機構のHP

◇２０１８年度以降入学者の標準修得単位数

学部／学年	１年終了時（2026年3月末時点）	２年終了時（2026年3月末時点）	３年終了時（2026年3月末時点）
工学部	３１単位	６６単位	１１０単位
ロボティクス＆デザイン工学部	３１単位	６２単位	１００単位※1 １０４単位※2
情報科学部	３１単位	６２単位	１０４単位
知的財産学部	２８単位	５６単位	８６単位

※１．２０１８～２０２１年度入学生
※２．２０２２年度以降入学生

⚠ **給付奨学金(多子世帯の申請含む)は、留年したことのある学生、４年生で卒業研究未着手の学生は出願できません。**

多子世帯の支援制度が開始されています！

２０２５年度から「多子世帯の大学等の授業料等無償化」が開始されました。
日本学生支援機構から「多子世帯」の認定を受けた学部学生は、所得制限※なく入学金(新入生のみ)および授業料が減免されます。
授業料等減免を受けるためには、大学が指定する期間内に日本学生支援機構の給付奨学金に出願することが必要です。

※ 所得制限はありませんが、資産要件（申請者と生計維持者への資産の合計額が３億円未満）および**学力要件の審査があります。**
※私立大学の場合は年間の授業料減免額が最大７０万円となるため、授業料全額が無償化される制度ではありません。
※**給付奨学金を受けていない学生で、多子世帯に該当する場合は必ず出願してください。**
なお、すでに給付奨学金に採用されている学生は、出願不要です。

制度概要
【文部科学省のHP】